

2013年6月10日

報道関係各位

三菱地所株式会社

グループ経営強化のため、グループ社員向けの独身寮・研修施設を開設

～グループ社員の交流拠点、グループの環境基本方針を体現するモデルプロジェクトとして整備～

三菱地所株式会社は、当社グループ社員の交流拠点及び当社グループの環境基本方針を体現するモデルプロジェクトとして、東京都港区高輪に、グループ社員向けの独身寮（全203室）・研修施設を開設することとなりましたので、お知らせします。

三菱地所グループでは、中長期経営計画「BREAKTHROUGH 2020」における行動指針の1つに“**As One Team**=グループ社員が一つになってビジョンに向かい進みます”と掲げ、グループ内の一体感の醸成を目指しております。本施設は、特に若い世代の対面コミュニケーションを活性化することにより、会社の枠を超えた相互理解や人的交流を促し、またグループ全社社員が共通で利用可能な厚生施設を設置することでグループ力の強化を図ります。

なお、グループ社員向けの独身寮は本年3月23日から供用開始しており、研修施設につきましては、本年6月10日より供用開始いたします。

<本施設のコンセプト>

1. 「交流の森」の創造

- 三菱地所グループの新入社員同士が、自主性を重んじながらも結束し、ともに成長し合える場として独身寮を整備。
- グループ経営強化のため、グループ全体を対象とした研修機会が増加していることを踏まえ、大規模な研修施設を開設。また、グループ社員間での公私にわたる交流を促進する場も提供することで、更なる一体感の醸成を目指す。

2. 「環境の森」の創造

- 三菱地所グループの環境基本方針を体現するモデルプロジェクトとして、大規模太陽光発電設備や太陽光集熱による給湯設備の設置、電気自動車のカーシェアリング、LED照明の広範囲にわたる採用、雨水再利用による灌水システムの導入等、先進の試みを実施。
- 研修施設には一部木構造を採用し、港区の「みなとモデルCO2固定認証制度」に基づく木材使用基準量の約10倍の国産木材を使用し、最高ランクである☆☆☆認証を民間・区の建物を含めて初めて取得。2008年度から当社が推進してきた「空と土プロジェクト（都市と農山村との交流活動）」の一環として、山梨県産木材も使用。

3. 「記憶の森」の創造

- 高輪の森を形成する既存樹木を活かしながら、四季折々の季節感あふれる新たな緑化空間を実現。
- 旧岩崎家の邸宅跡地に相応しく、時代の変化に左右されない景観の形成。



<外観>

三菱地所グループでは、グループにおける事業の多角化・拡大が進む中、グループ社員の交流を深め、一体感をより強くしていくことで、今後ともグループ経営の強化に努めてまいります。

以上

< 独身寮 / 室内 >



< 研修施設 / ホワイエ (山梨県産木材を一部利用)>



< 研修施設 / セミナールーム >



< 太陽光集熱による給湯システム >



< 太陽光発電 >

